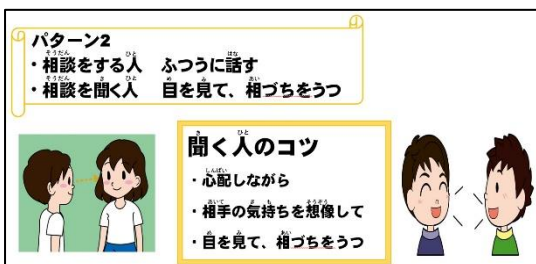




12月16日（水）学校保健委員会（3～6年生）

今回の学校保健委員会も2部構成で行われました。1部は保健委員会の発表、例年と違ったのは2部でした。学校医さん等に御講話をいただくのではなく、各学級で体験を取り入れた授業形式で行われました。

保健委員会の発表は『けやきっ子ニュース』と題した動画を作成し、みんなに見てもらいました。「コロナ対策特集」として、インタビューのコーナーやアンケート結果を発表するコーナー、クイズのコーナーと、盛りだくさんの企画を通して、自分たちがすべき感染予防策について伝えてくれました。



2部では共通のテーマ『聞き方のコツを知り、相談マスターになろう！』に取り組みました。相談をしたりされたりする場面を役割演技で体験し、感じたことから、話し手にとって話しやすい聞き方、聞き上手になる為のコツを学びました。話を聞いてくれる人がいるだけで心が救われることがあります。お互いに聞き上手になって、支え合えるけやきっ子になりたいと思います。

12月17日（木）スマホ・ケータイ教室（5・6年生）

ゲーム機や保護者のスマホ等を含め、身の回りにある機器を利用したことのある年齢や、スマホやケータイを所持する年齢がどんどん若年化しています。それに伴ってトラブルも増えています。こうした現状から考えると、高学年での『スマホ・ケータイ教室』は、タイミングとして遅いのかもかもしれません。講師としてお越しいただいたNTT docomoの担当者によると、入学説明会で保護者向けに安全教室を行うことも増えているそうです。（子どもに機器を持たせる前が肝心なようです。）

以下が今回の教室で注意が呼びかけられた内容です。年末年始、機器を利用する機会が増えそうです。お子様にスマホやゲーム機を持たせていらっしゃる保護者の皆様は、利用についてルールを再確認するなどし、トラブルの未然防止にお努めください。

★「使いすぎ」に注意！睡眠時間や勉強時間、運動する時間を削ってはいけません。おうちの人や友達とルールを決めましょう。

★「文字だけのやりとり」に注意！本当の気持ちが伝わりにくいことを覚えておきましょう。（気持ちを伝えるときは会ってから話しましょう。）自分が書かれて嫌なこと、されて嫌なことはしてはいけません。

★「インターネット」に注意！インターネット上で知り合った人に会いに行ってはいけません。写真や動画、個人情報を送ってはいけません。





YOU&I インフォメーション



◆いじめ防止標語コンテストへの応募作品（ごくごく一部）の紹介◆

人権週間において、子どもたちが「いじめ防止標語」を考え、愛知県PTA連絡協議会主催のコンテストに応募しました。その一部の力作を紹介します。

『大丈夫 ずっとそばにいるから』 『いじめの火 消すのは勇気と思いやり』
 『いじめはね 相手も自分も傷つくよ』 『大丈夫 一緒に遊ぼう 公園へ』
 『我慢せず 言ってみようよ「嫌なんだ」』 『なんでも話そう 家族は味方』



◆第1回大府市キーボード入力コンクール「取得級」、6年生が市内第2位！◆

大府市におけるICT教育の推進を図る一環として、市内の小学6年生を対象としたコンクールを行いました。キーボード入力の技能を高めることを目指した取組です。決められた期間内に、どれだけ「キーボー島（ソフト名）」で入力の級を上げられたか、その級の平均で競いました。その結果が市内第2位でした！年明けには第2回もあります。みんなで頑張ろう！

Looking back for けやきっ子

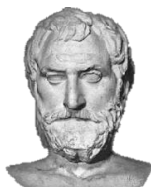
加藤あす香： 個人懇談会で保護者とお話しできました。一か月も一緒に過ごしていない子どもたちについてお話しするのに苦戦しましたが、みんなの良いところ、もっと伸ばしたいところのお話しができて良かったです。

1の3でビー玉貯金を始めました。前任の瑛子先生と友田先生が温かく育ててくださった子どもたちがもっと伸びるように支援・指導をしていきたいです。

友田(教務)： 担任から離れると、彼らがよりかわいく思えます。3組は、1年生らしく本当に面白いクラスだと思います。よろしくお願いします。

ココン東西

正直、スマホとは距離を取りたいと思っている。スマホ教室を受けたり、最近購入した新書『スマホ脳』を読んだりしてその思いを強くしている▼本によれば、そもそも人間の脳はデジタル社会に適応していないらしいし、自分自身、上手く適応できると思えない。だからスマホの存在が、子どもたちの将来に深刻な影響をもたらすのではないかと気が気でない▼先日、長年愛用してきたケータイが突然壊れてしまった。手続きの関係で出先から妻に連絡しようと思いついた。妻の電話番号が分からない。というのだれの番号も全く分からない。つながれない。ちっぽけな機器が壊れただけのことに、すべてを失ったような気持ちになったし、逆に新しい機器を手にしたときの安心感はいえようがない▼どっぷりデジタルに頼る生活をしている現実。スマホと距離を…云々の問題ではなかった。



最も困難なことは自分自身を知ることであり、最も容易なことは他人に忠告することである。

タレス（古代ギリシャの哲学者）